

# 「合唱」で人生に潤いを

○：地元で合唱の素晴らしいコンサートを多摩市民館で開催する。その合唱団を立ち上げ時から指導して、0年から活動している登戸混声合唱団。今年23日には、毎年恒例の『ひとひらのあ

## 人物風土記

題字は  
阿部孝夫市長



●12月23日に多摩市民館で『ひとひらのあ  
いコンサート』で指揮をする

## 片野 秀俊さん

中野島在住 63歳

をもっと身近に感じてほしい」  
受け、声楽や指揮を学んだ。「人より遅いスタートだったから努力したね」。就職時

○：合唱は年齢や仕事にかかわらず、様々な背景を持つ人が集まることから「社会の縮図」と呼ばれること。それ故に、一つの合唱団がまとまるにはそれなり

の時間が必要と考えている。○：日本には世界でもトップレベルを誇る合唱団は、あるものの、一般的な普及率はまだまだと感じている。

「観客に感動を届けるためにも、向上心や努力が必要。自己満足ではないよ、といつも言っています」

○：福島県いわき市出身。母の影響で幼少から音楽好き。高3の進路選択で「後世に残る仕事したい」と作曲家になる夢を追い、独学で学び東京専音楽学校（現昭和音楽大学）に補欠で入学した。補講までもめていきたいね」